

病防第16号の8
平成28年11月29日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

病虫害発生予察情報（美濃地域） 12月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 企画情報係		
係 長	石 川	担 当	杉 原
TEL	058-239-3161（直通）		
FAX	058-234-0767		

平成28年度 病虫害発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 12月予報

【野菜類】灰色かび病

本病は、葉先枯れやがく枯れ、花がらなどの枯死部位から発生するため、栽培管理時にこれらの除去を徹底してください。また、施設内の湿度が高まると発生が顕著となるため、暖房機や循環扇等を利用し、施設内の湿度低下に努めてください。

○主な病虫害の発生状況及び今後の予測(12月)

作物	病虫害名	12月(予測)	発生状況及び今後の予測	11月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	うどんこ病	少	調査ほ場で発病は認められない。今後、気温の低下により急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病 発生初期の防除を徹底する。 ・ハダニ類 ほ場内をよく観察し部分的な発生に注意する。
	ハダニ類	やや多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は平年より高いと予報され、増加が予測される。	並	
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は平年より高いと予報され、増加が予測される。	少	
トマト	灰色かび病	やや多	葉先枯れ等で発病が認められる。今後の気象により施設内の湿度が高まるため、増加が予測される。	並	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 厳寒期でも施設内では低密度で生息しているため防除を徹底する。
	コナジラミ類	多	施設内で発生が認められる。今後、気温は平年より高いと予報され、引き続き発生が予測される。	多	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場で発病が認められる。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、罹病性品種では発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> * 11月調査は抑制作型 12月予測は促成作型 ・べと病 過湿時には循環扇等を利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 半促成作型定植時には粒剤を施用する。わずかでも発生が見られれば防除を実施する。
	うどんこ病	多	調査ほ場で発病が認められる。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	多	
	べと病	やや多	調査ほ場で発病が認められる。今後の気象により施設内の湿度が高まるため、増加が予測される。	並	
	アザミウマ類	多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は平年より高いと予報され、増加が予測される。	多	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種:イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(カレラ:褐斑病耐病性)

野菜類 微小害虫

【ウイルス病を媒介する微小害虫】

ミナミキイロアザミウマはキュウリ黄化えそ病の、タバココナジラミはトマト黄化葉巻病のウイルスをそれぞれ媒介します。これら微小害虫は、植物の間を飛び回り、次々とウイルスを媒介するため、低密度でも大きな被害を与える場合があります。

キュウリでは、作型を切り替える場合は、次作の定植まで20日以上空け、保毒虫が次作に引き継がれないようにしましょう。また、タバココナジラミは屋外で越冬できず、施設内で越冬するため、厳寒期の施設内の防除を徹底し、春先の増加を抑えましょう。

施設内をよく観察し、これら微小害虫の発生に注意してください。また、以下の対策により微小害虫の防除を徹底してください。



ミナミキイロアザミウマ



タバココナジラミ

- ①前作の残渣や施設内の雑草で生存するため、処分を徹底する。
- ②定植直後の増加を防ぐため、定植時には粒剤を施用する。
- ③開口部を防虫ネット(0.4mm目合い)で被覆する。
- ④薬剤散布を行う場合、同一系統薬剤の連用を避ける。

＝施設栽培の病虫害の防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病虫害の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病虫害の発生状況に応じた防除を実施してください。

数値データ

(調査11月:岐阜西濃地域)

作物	病虫害名	発生率	割合
イチゴ	うどんこ病	(発病株率)	0 (0.0)
	ハダニ類	(寄生株率)	12.7 (13.7)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0.7 (1.7)
トマト	灰色かび病	(発病株率)	1.3 (-)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	9.0 (4.9)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	1.3 (8.8)
	うどんこ病	(発病葉率)	16.9 (8.9)
	べと病	(発病葉率)	11.7 (11.7)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0.49 (0.29)

注1)イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2)()内数値は平年値、株率、葉率、果率は%、頭数は頭

注3)トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(11月1半旬~11月4半旬)

注4)トマト灰色かび病の発病株率は本年度より調査開始したため平年値なし

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 11月24日)

向こう1カ月の気温は平年並み~高く、降水量は平年並み~多く、日照時間は少ない予想です。山間部を除き、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

岐阜県病虫害防除所では、この他に病虫害の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767